



平成24年 5月 9日

各 位

大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
ダイダン株式会社
代表取締役社長執行役員
植林 信一
(東証・大証第一部 コード番号1980)

(問合わせ先)
取締役専務執行役員業務本部長
河久保 弘 和
TEL (06) 6447-8000

「中期経営計画」の策定について

当社は、平成24年度から平成26年度までの3カ年を対象とする「中期経営計画」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社をとりまく経営環境は、東日本大震災の復興需要が一部あるものの、為替の動向の不透明さによる設備投資の海外シフトなどもあり一段と厳しさを増しています。

この度策定した中期経営計画は、この産業構造の変化とも言える状況下で厳しい競争に対応するため、技術研究所の新棟建設を始めとする新しい戦略・施策にチャレンジしていくことにより、総合設備工事業者として会社の発展に必要な業績を確保していくことを目的としております。

当社は、平成25年3月に創業110周年を迎えます。株主各位および関係者各位には、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

中期経営計画

2012/4～2015/3

－ 新たな時代にチャレンジするダイダン －

I. 経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

II. 経営方針

1. 顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する。
2. コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
3. 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
4. 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

III. 収益目標

本計画初年度（平成24年度－第84期）ならびに最終年度（平成26年度－第86期）の収益目標は以下の通りとする。

	平成24年度（第84期）		平成26年度（第86期）	
	連結	個別	連結	個別
受注工事高	1,210億円	1,200億円	1,310億円	1,300億円
完成工事高	1,210億円	1,200億円	1,310億円	1,300億円
営業利益	30億円	30億円	40億円	40億円

IV. 中期経営計画の概要

◎平成24年度から平成26年度までの3か年を対象とする。

◎中期経営計画の基本方針は次の通り。

- ・「顧客第一主義」の視点で企業活動を展開し、顧客ニーズと市場動向の変化を的確に捉える。顧客から「選ばれ続ける」ことを誇りと理想とする当社社風を、新しい時代においても揺らぐことなく引き継ぐ。
- ・社員一人ひとりの知識と経験に支えられた個人の「現場力」と、管理手法の継続的改善に支えられた組織の「現場力」を強化し、顧客ニーズに応える品質とサービスを提供する。
- ・成長分野に挑戦し、顧客ニーズに応える建築設備を提供する。また、学び続ける企業風土の確立に向け、人材育成の仕組みを再構築する。
- ・「省」「創」「蓄」エネルギーの最適な実現を理想とするスマートエネルギー時代を迎え、建築設備の新しい価値を提供できる企業となるための施策を実施する。

V. 重点戦略および施策

1. 顧客第一主義の戦略・施策

①「顧客密着型ワンストップサービス」の強化による受注拡大

- ・総合設備業の強みを活かし、建物ライフサイクルを考慮した「顧客密着型ワンストップサービス」を強化する。顧客との関係を強化し、リニューアル工事の受注拡大を図る。
- ・竣工引渡し後の顧客サポート体制を強化し、多様なニーズに対応するとともにサービスのスピードアップを図る。

②技術提案の推進

- ・新規顧客の獲得に向け、開発技術や関連技術を活かした技術提案を積極的に推進する。

2. 『現場力』強化の戦略・施策

①設計提案力・施工技術力の向上

- ・「現場力」＝「知識」×「経験」×「行動力」と位置づけ、これを強化する。
- ・複数事業所を束ねた地区（エリア）内における設計技術者・施工技術者の流動性を高め、市場動向の変化への対応力を強化する。

②現場管理手法の継続的改善

- ・現場管理手法の効率的な改善を推進する。
- ・安全・品質・コストに関して、リスク軽減とトラブルの予防につなげる。

③マイスター制度の活用による協力業者の育成

- ・協力会社を指導育成する制度として発足したダイダニマイスター制度の定着と活用を図る。優れた協力会社作業員を顕彰し、当社技術者との一層の連携により、安全の確保と品質の向上、およびコストの低減を図る。

3. 機能強化の戦略・施策

①成長分野への挑戦

- ・環境重視の時代を迎えて、投資が活発化するグリーン分野への営業推進と対応力を高める。
- ・デバイス分野へ積極的に取組み、工場・研究所等における高度設備技術を必要とする

プロジェクトに注力する。

- ・社会的に重要度が増しているワクチンを含む製薬工場および実験動物施設などのバイオ分野へ継続して注力する。

②医療・介護分野の設計・施工技術の充実・営業強化

- ・有望な市場である医療・介護分野に対する技術力と提案力を強化する。
- ・病院施工実績NO. 1の経験と技術力を基盤に、積極的な営業活動を行う。

③職種別「標準キャリアモデル」の設定

- ・幅広い知識と経験を持つ人材の全社的な育成に向け、ジョブローテーションを含む標準キャリアモデルを設定する。

④全社教育体制の再構築

- ・「現場力」強化に向けた全社教育体制の再構築を推進する。

4. 新たな価値創造の戦略・施策

①スマートエネルギー時代に向けたコンセプト《Energy Value Company》の展開と「省・創・蓄」エネルギーを実現する建築設備の研究開発推進

- ・スマートグリッドやマイクログリッドの普及が予想される将来に備え、「省・創・蓄」エネルギー設備を提供できるベース（設計・施工・評価手法）の整備と、研究開発を推進する。

②超臨界CO₂洗浄再生技術の事業化推進

- ・フィルタのリユースを実現する超臨界CO₂による洗浄再生の事業化を進める。
- ・洗浄再生可能な対象を拡大するための技術開発を推進する。

③植物工場に関する研究開発の推進

- ・植物工場のシステム構築技術および事業性が見込める高付加価値植物の栽培技術に関する研究開発を推進する。

以上

中期経営計画
2012/4/1～2015/3/31
新たな時代にチャレンジするダイダン

経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

2012年4月1日制定



経営方針

1. 顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する。
2. コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
3. 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
4. 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

顧客第一主義の戦略・施策

- ①「顧客密着型ワンストップサービス」の強化による受注拡大
- ②技術提案の推進



- ・建物ライフサイクル重視によるリニューアル工事の受注拡大
- ・直接受注工事の拡大
- ・新規顧客の拡大

『現場力』強化の戦略・施策

- ①設計提案力・施工技術力の向上
- ②現場管理手法の継続的改善
- ③マイスター制度の活用による協力業者の育成



- ・『現場力(=知識×経験×行動力)』の向上
- ・安全・品質・コストのリスク軽減
- ・建築設備を支える優秀技能工の育成

機能強化の戦略・施策

- ①成長分野への挑戦
- ②医療・介護分野の設計・施工技術の充実・営業強化
- ③職種別「標準キャリアモデル」の設定
- ④全社教育体制の再構築



- ・顧客ニーズに応える建築設備の提供
- ・全社員が学び続ける企業風土の確立

新たな価値創造の戦略・施策

- ①スマートエネルギー時代に向けたコンセプト《Energy Value Company》の展開と「省・創・蓄」エネルギーを実現する建築設備の研究開発推進
- ②超臨界CO2洗浄再生技術の事業化推進
- ③植物工場に関する研究開発の推進



- ・環境負荷低減技術の確立による社会貢献
- ・企業価値の向上

